

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	舞台芸術×地域活性化事業費	舞台芸術を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、交流・関係人口の創出による地域活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化交流拠点整備事業 旧鹿野幼稚園舎の改修および旧鹿野小学校舎一部解体、アネックス新設実施設計のための経費に対し支援を実施</li> <li>舞台芸術×人材育成モデル事業 プロの俳優・演出を目指す人向けの演劇塾の開催（参加者4名） 市民を対象とした演劇講座の開催（2地区公民館、参加者9名、鑑賞者32名） 小・中学校向け劇場空間体験事業の開催（7校、参加者32名） 企業人材等育成事業の開催（4社、参加者24名）</li> <li>舞台芸術×賑わい創出モデル事業 鳥の演劇祭16（どろぼう学校）開催支援（鑑賞者263人）</li> </ul>	文化交流拠点整備に対する支援および演劇を活用した地域や企業等の人材育成事業を行うことにより、演劇の魅力の発信や地域産業との連携など地域の賑わいを創出することで、文化芸術のまちづくりに貢献した。	「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域活性化の取組を推進するうえで、人材育成、交流促進、産業振興などの取組を一体的に推進する必要があることを踏まえ、交流拠点整備に対する支援と地域の人材育成、賑わい創出事業に取り組む。	企画推進部	文化交流課	85
2	○	文化芸術推進事業補助金	文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進、地域に根差した文化芸術の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統芸能に係る用具整備事業に対する支援 3団体</li> </ul>	保存団体の活動維持に必要な用具の修繕・新調を支援することにより、地域の伝統文化の保存・継承が図られることで、文化芸術によるまちづくりの推進に貢献した。	伝統芸能の保存継承を進めるうえで、担い手育成と共に用具の保全も必要であることを踏まえ、保存団体の活動に対する支援の充実に取り組む。	企画推進部	文化交流課	84
3	○	文化振興費	若年層を対象とした文化芸術事業の実施により、地域の文化芸術の担い手を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代育成推進事業 乳幼児向け「0歳児からのコンサート」を2回（107名参加）、「中学生のための吹奏楽クリニック」を1回（117名参加）、「シルエット劇場」を2回（1,023名参加）実施した。 小中学生向け「和太鼓ワークショップ」を5回（7名参加）、また発表会を実施した。</li> <li>児童生徒を対象とした文化芸術事業 「能と狂言」鑑賞会を1校で実施し、43人が鑑賞した。 鳥の劇場による「がまくんとかえるくん」公演を3校で実施し、501人が鑑賞した。</li> <li>芸術の出前講座 3校135名の児童が12分野の文化芸術講座を受講し作品を制作した。</li> </ul>	子どもたちが優れた芸術を鑑賞したり、地元芸術家と交流しながら創作活動を行うことにより、豊かな心を持つ人材の育成や地域の文化芸術活動の継承が図られることで、文化芸術のまちづくりに貢献した。	地域の文化芸術活動の持続・発展を図るうえで、地域の文化芸術の担い手の育成が必要であることを踏まえ、地元芸術家や学校などと連携しながら育成の機会の提供に取り組む。	企画推進部	文化交流課	83
4	○	文化芸術のまちづくり推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	文化芸術に関する情報発信や地元芸術家などの活動に対する支援を行うことにより、市民の文化芸術に対する意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元芸術家活用支援事業として、5件の地元芸術家を活用した事業に対し支援を行った。</li> <li>文化芸術の普及啓発事業として、FM鳥取と連携しラジオ・動画配信で12件（9団体、3人）の文化芸術活動の情報発信を行った。</li> <li>民間ギャラリー活用支援として、8件の芸術家のギャラリー活用事業に対し支援を行った。</li> <li>中心市街地若手芸術家育成拠点整備事業として、作品創作、展示・販売場所等の整備に要する経費に対し支援を行った。</li> </ul>	地元芸術家の活動および民間ギャラリーの活用を支援することにより、市民の文化芸術活動の促進に寄与した。また、若手芸術家育成拠点を整備することにより、若手芸術家の育成および中心市街地の賑わい創出に寄与することで文化芸術のまちづくりに貢献した。	地元芸術家の活動の維持・発展を図るうえで、地域の文化芸術の担い手の育成や文化芸術活動を盛んにする必要があることを踏まえ、地元芸術家の活動支援や活動の場の創出に取り組む。	企画推進部	文化交流課	84

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
5	○	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	市民などに芸術作品を制作・鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化芸術活動の促進、文化芸術に対する意識の高揚を図る。	令和5年5月28日から6月4日まで第62回麒麟のまち鳥取市美術展の開催。2,065人が鑑賞した。 また、6月10日から7月9日まで、市展賞受賞作品展をやまびこ館（鳥取市歴史博物館）で開催し、1,803人が鑑賞した。	令和3年度（第60回）から、出品資格を麒麟のまち圏域に拡大し、昨年度に引き続き美術展を開催することにより、圏域住民に芸術作品の創作や鑑賞の機会を提供することで、文化芸術のまちづくりに貢献した。	麒麟のまち鳥取市美術展を持續・発展させていくうえで、新たな出品者を確保していく必要があることを踏まえ、情報発信の強化など、美術展の魅力を高めることによる出品意欲の喚起に取り組む。	企画推進部	文化交流課	85
6	○	市民会館施設管理費	文化芸術活動・鑑賞の場である文化施設などの機能維持・充実に努めることにより、文化芸術活動の促進につなげる。	・指定管理者と連携し、所管施設である市民会館の機能維持に努めた。 ・「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」を策定した。	所管する文化施設の機能維持に努めることにより、市民の文化芸術活動や芸術鑑賞の場を提供することで、文化芸術によるまちづくりの推進に貢献した。また、将来に向けて、本市の文化施設のあり方に関する基本方針を策定したことにより、市民の関心を喚起することで、文化芸術によるまちづくりの推進に貢献した。	市民会館をはじめ、主な文化施設の老朽化が進行していることを踏まえ、「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」を基本とし、外部有識者会議による本市の「新たな文化施設の整備に関する基本構想」の策定に向けて取り組む。	企画推進部	文化交流課	86
7	○	伝統工芸品活用推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	新型コロナウイルス感染症の影響などにより需要が減少している因州和紙をはじめとする伝統工芸品等について、インバウンド増や国内観光客が増加するタイミングをとらえ、知名度アップを図り、需要を喚起することにより、本市の伝統産業の事業継続につなげる。	○伝統工芸品等活用推進事業費補助金 鳥取市の伝統工芸品等の製造販売を支援するため、集客施設等事業者の購入助成を行った。 補助対象 9件 1,036,000円 ○鳥取民藝を活用した誘客事業 「鳥取民藝」をキーワードに鳥取市の民工芸品の魅力向上・情報発信を行うイベントを行い、商店街への誘客を図った。 (公財)鳥取市文化財団へ委託 委託額 2,979,915円	伝統工芸品等活用推進事業費補助金は応募事業者が少なかったが、実施者からは地元の伝統工芸品を見直す良い機会であり有意義な事業であるとの評価が得られた。鳥取民藝を活用した誘客事業では、民藝をテーマとした様々なイベントを行い、中心市街地の賑わいと鳥取民芸のPRが図れた。	単発的な事業で終わることなく、各事業者、商店街関係者が連携し継続して取り組む必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課	190
8	○	町民音楽祭開催費（鹿野町地域振興課）	地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、町民ミュージカルの活動に対し補助を行う。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、地域の文化芸術における担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	第37回鹿野ふるさとミュージカル「音楽劇さくら姫物語」を上演し、700人の入場があった。生のオーケストラやコーラスを擁してのミュージカル公演は非常に稀であるが、コロナ禍を経て市民会館での本格的な舞台を上演することができた。 合同公演により参加者相互の交流が深まり、新たな可能性の発見があった。	・総合芸術といわれるミュージカルの特徴を活かし、文化芸術の各分野の活動家に公演に参画いただくよう努め、活動の促進に貢献した。 ・鳥の劇場との連携を強化し、高い芸術性、演劇のノウハウなどを指導いただきながら質の高い舞台づくりに努めた。 ・公募などを通じ、役者やスタッフを地域や県内の団体構成員から募り、文化芸術の観点からまちづくりを活性する一助を担うことができた。	市民参加型のミュージカルとして、演劇・舞踊・オーケストラ・合唱・地域の芸術家による舞台背景・ユニバーサルなダンス・太鼓などの音源活用など、幅広い分野の共演、鳥の劇場をはじめ県内外の専門チームによる支援などを継続し、質の高い舞台を維持することと同時に次世代育成に注力していく。ミュージカルの継続と地域づくり、人づくりにつながるような活動に努める。	鹿野町総合支所	鹿野町総合支所地域振興課	347